

資料・統計

2014年入院がん患者統計

Statistics of Cancer Inpatients in 2014

新潟県立がんセンター新潟病院
情報調査部 病歴室

2014年の入院がん患者の基礎資料

(表1, 図1)

2014年に新規がん登録された患者実数は2,693人、疾患数(延数)は2,796人であり、実数ベースでは前年より若干減少した。当院のがん登録数は2001年以降、年に数百人ずつのペースで右肩上がりの増加を続けていた。2007年をピークに減少に転じたものの、最近数年は横ばいで推移している。

部位別がん登録数の推移 (表2)

部位別に新規がん登録数をみると、肺がん(409, 前年比-52)、胃がん(345, 前年比-23)、乳がん(280, 前年比-27)、前立腺がん(216, 前年比-55)、結腸がん(168, 前年比+9)の上位5がんの順位は変わっていない。上位を占めるがんの減少が目立つが、食道がん、胆のう・胆管がん、膵がんの増加が顕著であった。

全入院患者に占めるがん患者数

(表3, 表4, 図2, 表5)

2014年に入院診療を行ったがん患者実数は4,217人(前年比+15)、延数ベースでは8,701人(前年比+180)と増加していた。前年までの数年間は延数

の減少が続いており、その理由としてDPC制度下で外来化学療法への移行が進んでいることと、内服での分子標的薬が増えてきているために入院の必要性が減っていることが考えられた。

総入院患者数に占めるがん患者数の割合は、実数ベースで70.1%、延数ベースで81.7%と前年とほぼ同様であった。図2にこれまでの推移を示す。表5にみるように診療科によってかなりの違いはあるものの、当院全体としてはがん診療への特化傾向が続いていることが分かる。

病類別在院日数 (表6)

がん(新生物)患者の平均在院日数は13.5日と、前年(14.4日)よりもかなり短縮していた。

注:入院患者の院内がん登録統計については、作業の行程上1年遅れの報告となっていることをご了解頂きたい。(文責 竹之内辰也)

表1 2014年入(退)院がん患者統計

1. 2014年新規がん登録患者数 (実数).....	2,693
2. 2014年のがん登録疾患数 (延数).....	2,796
内訳：本年初登録で単疾患	2,344例, 2,344疾患
本年初登録で複数疾患	94例, 191疾患
既登録で本年初発疾患	255例, 261疾患
3. 2014年の入院がん患者実数.....	4,153
(前年までの登録患者も含む)	
4. 2014年の入院がん患者延数.....	8,701
(前年までの登録患者も含む)	
5. 2014年の総入院患者実数.....	5,530
6. 2014年の総入院患者延数.....	10,647

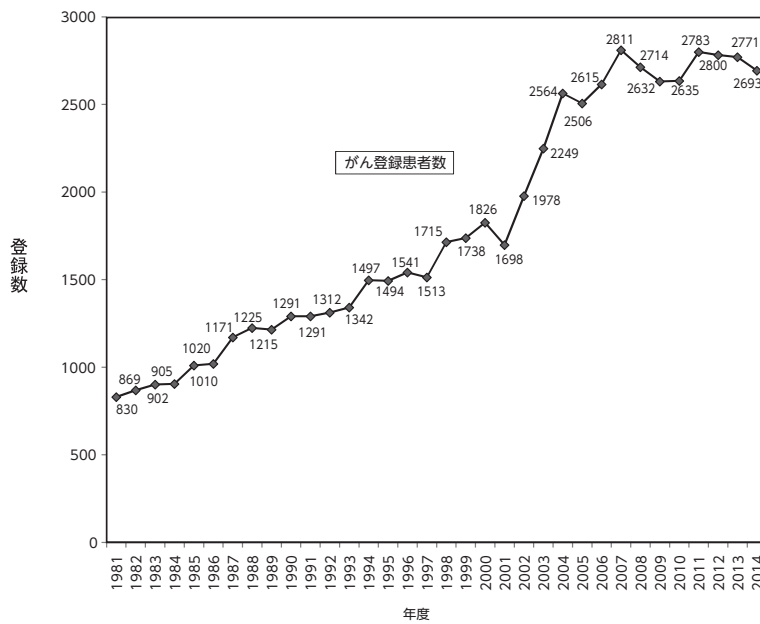


図1

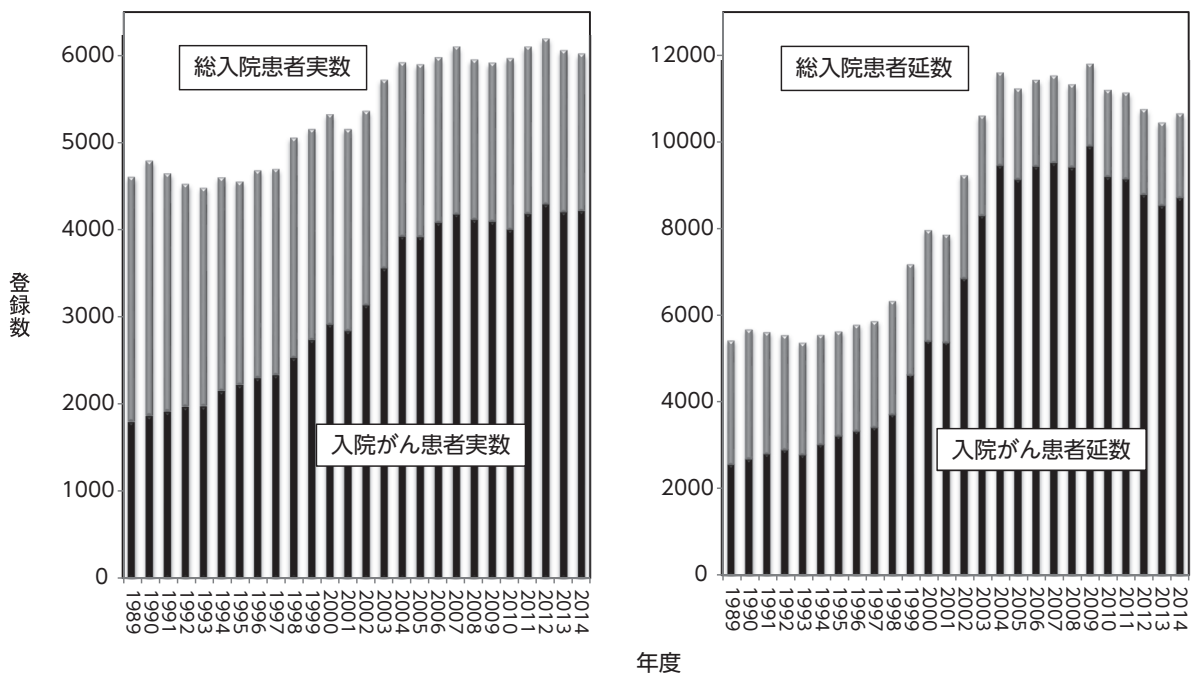


図2

表2 部位別がん登録数の推移 (実数)

部位等 (ICD10)	2012年					2013年					2014年				
	入院患者実数	男	女	入院患者延数	新規がん登録数	入院患者実数	男	女	入院患者延数	新規がん登録数	入院患者実数	男	女	入院患者延数	新規がん登録数
口唇、口腔および咽頭の悪性新生物 (C00～C14)	80	64	16	146	51	64	47	17	112	40	64	50	14	86	46
食道の悪性新生物 (C15)	182	156	26	457	115	163	140	23	374	100	186	157	29	394	121
胃の悪性新生物 (C16)	489	359	130	840	398	486	337	149	836	368	452	310	142	869	345
小腸の悪性新生物 (C17)	5	3	2	7	7	9	6	3	12	6	8	5	3	16	7
結腸の悪性新生物 (C18)	197	106	91	304	150	211	124	87	316	159	234	136	98	457	168
直腸、直腸S状結腸移行部および肛門の悪性新生物 (C19～C21)	178	112	66	272	113	185	121	64	284	120	176	122	54	340	103
肝および肝内胆管の悪性新生物 (C22)	43	33	10	101	22	52	38	14	95	27	51	38	13	90	26
胆嚢および肝外胆管の悪性新生物 (C23,C24)	47	36	11	138	38	49	34	15	163	27	69	45	24	124	54
膵の悪性新生物 (C25)	108	61	47	191	72	98	55	43	174	62	133	75	58	249	100
その他消化器および腹膜の悪性新生物 (C26,C48,C45.1)	15	3	12	48	4	16	4	12	40	5	12	1	11	57	6
喉頭の悪性新生物 (C32)	37	35	2	86	29	39	39	0	67	22	33	30	3	49	25
気管、気管支および肺の悪性新生物 (C33,C34)	681	465	216	1462	437	699	496	203	1524	461	664	469	195	1579	409
その他呼吸系および胸腔内臓器の悪性新生物 (C30,C31,C37～C39,C45.0,C45.2)	25	15	10	62	9	23	17	6	58	15	23	16	7	55	15
骨および関節軟骨の悪性新生物 (C40,C41)	16	8	8	35	7	9	5	4	18	3	6	2	4	17	1
皮膚の悪性新生物 (C43,C44,C46)	97	56	41	143	84	123	61	62	148	114	134	64	70	161	117
乳房の悪性新生物 (C50)	484	0	484	1154	326	448	2	446	1032	307	445	0	445	935	280
結合組織およびその他の軟部組織の悪性新生物 (C47,C49)	37	24	13	102	21	42	22	20	91	23	30	12	18	51	19
子宮頸の悪性新生物 (C53)	79	0	79	215	54	66	0	66	206	38	60	0	60	169	38
その他子宮の悪性新生物 (C54,C55)	90	0	90	272	61	92	0	92	303	63	96	0	96	318	60
その他女性生殖器の悪性新生物 (C51,C52,C56～C58)	112	0	112	416	56	109	0	109	321	49	106	0	106	447	53
前立腺の悪性新生物 (C61)	338	338	0	403	261	341	341	0	399	271	308	308	0	354	216
膀胱の悪性新生物 (C67)	267	211	56	446	148	227	191	36	375	122	241	198	43	376	133
腎および腎盂の悪性新生物 (C64,C65)	115	85	30	199	78	119	86	33	185	80	121	92	29	182	89
その他の泌尿生殖器の悪性新生物 (C60,C62,C63,C66,C68)	58	41	17	111	30	71	51	20	137	41	71	53	18	135	45
脳の悪性新生物 (C71)	16	7	9	23	12	10	3	7	14	2	4	2	2	10	6
その他および部位不明の悪性新生物 (C69,C70,C72～C80)	137	52	85	206	95	127	45	82	200	87	127	45	82	166	85
再掲 [甲状腺 (C73)]	105	37	68	125	76	91	25	66	106	66	97	26	71	114	66
白血病 (C91～C95)	82	51	31	208	40	83	52	31	199	43	71	49	22	191	28
その他のリンパ組織および造血組織の悪性新生物 (C81～C85,C88,C90,C96)	193	100	93	642	85	223	127	96	748	122	192	96	96	722	100
上皮内癌 (D00～D09)	85	1	84	85	84	87	8	79	90	86	100	6	94	102	101
計	4,293	2,422	1,871	8,774	2,887	4,271	2,452	1,819	8,521	2,863	4,217	2,381	1,836	8,701	2,796

※入院患者実数、入院患者延数：前年までに登録された患者も含む

表3 入院がん患者実数の年次推移（実数および割合）

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
入院がん患者実数	4,115	4,094	4,001	4,183	4,293	4,202	4,217
％	69.2	69.2	67.1	68.6	69.4	69.4	70.1
疾患別患者実数	5,948	5,914	5,963	6,097	6,190	6,054	6,016

表4 入院がん患者延数の年次推移（延数および割合）

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
入院がん患者延数	9,405	9,886	9,184	9,133	8,774	8,521	8,701
％	83.1	83.9	82.1	82.1	81.6	81.6	81.7
疾患別患者延数	11,314	11,787	11,186	11,120	10,746	10,438	10,647

表5 診療科別がん患者割合（延べ数，重複あり，死亡・剖検は実数）

診療科	がん患者数	（％）	入院患者数	死亡数		剖検数	
				がん	総数	がん	総数
内科	2,652	(82.3)	3,224	176	194	5	6
神経内科	1	(7.1)	14	1	2	0	0
小児科	108	(81.8)	132	1	1	1	1
頭頸部外科	220	(73.8)	298	11	12	0	0
外科	2,647	(91.6)	2,889	95	98	0	0
呼吸器外科	416	(90.4)	460	1	4	0	0
整形外科	105	(31.3)	335	5	5	0	0
脳神経外科	111	(72.1)	154	13	15	0	0
麻酔科	1	(0.0)	1	0	0	0	0
眼科	0	(0.0)	132	0	0	0	0
皮膚科	185	(81.9)	226	8	8	0	0
泌尿器科	972	(76.5)	1,270	40	40	0	0
婦人科	1,054	(82.7)	1,274	20	20	0	0
放射線科	219	(96.9)	226	0	0	0	0
形成外科	10	(83.3)	12	0	0	0	0
合計	8,701	(81.7)	10,647	371	399	6	7

表6 2014年病類別 (大分類) 在院日数別患者数

疾病大分類	在院日数	計	1~7日	~14日	~30日	~90日	~180日	~181日 以上	平均在院 日数
合計		10,647	4,744	3,319	1,723	784	61	16	13.0 (138,569)
I 感染症および寄生虫症		42	19	13	7	3	0	0	11.3 (475)
II 新生物		9,050	3,848	2,937	1,527	667	56	15	13.3 (120,783)
III 血液および造血管の疾患ならびに 免疫機構の障害		42	23	6	4	6	2	1	22.8 (957)
IV 内分泌, 栄養および代謝疾患		57	35	17	3	2	0	0	8.5 (485)
V 精神および行動の障害		2	0	1	0	1	0	0	20.0 (40)
VI 神経系の疾患		25	11	8	4	2	0	0	14.4 (360)
VII 眼および付属器の疾患		125	118	6	1	0	0	0	5.0 (624)
VIII 耳および乳様突起の疾患		6	4	2	0	0	0	0	5.2 (31)
IX 循環器系の疾患		203	94	53	44	12	0	0	11.4 (2,309)
X 呼吸器系の疾患		142	45	40	36	20	1	0	17.0 (2,410)
XI 消化器系の疾患		303	137	114	37	14	1	0	10.9 (3,309)
XII 皮膚および皮下組織の疾患		31	16	13	1	1	0	0	8.7 (271)
XIII 筋骨格系および結合組織の疾患		80	13	17	22	28	0	0	24.5 (1,958)
XIV 尿路性器系の疾患		377	295	66	12	4	0	0	5.5 (2,071)
XV 妊娠, 分娩および産じょく<褥>		1	0	1	0	0	0	0	12.0 (12)
XVI 周産期に発生した病態		0	0	0	0	0	0	0	0.0 (0)
XVII 先天奇形, 変形および染色体異常		7	5	2	0	0	0	0	6.7 (47)
XVIII 症状, 徴候および異常臨床所見・異常 検査所見で他に分類されないもの		49	36	7	3	3	0	0	7.9 (385)
XIX 損傷, 中毒およびその他の外因の 影響		89	29	16	22	21	1	0	22.1 (1,963)
XX 傷病および死亡の外因		0	0	0	0	0	0	0	0.0 (0)
XVI 健康状態に影響をおよぼす要因お よび保健サービスの利用		16	16	0	0	0	0	0	4.9 (79)
XVII 特殊目的用コード		0	0	0	0	0	0	0	0.0 (0)

() 延日数

良性平均在院日数 10.7 (総日数 20,850)

悪性平均在院日数 13.5 (総日数 117,719)

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{退院患者の入院延日数}}{\text{退院患者延数}}$$